



Southeast Asia

Regional Network

News Letter



宇都宮大学 国際学部・国際学研究科 同窓会 東南アジア支部 ニュースレター

Southeast Asia Regional Branch, Faculty of International Studies &
Graduate School of International Studies Utsunomiya University Alumni Association

Vol. 3
April, 2018

CONTENTS

1. 新年会@バンコク
2. 感謝の会@バンコク
3. 同窓生インタビュー
4. 連載コラム～タイの昨今



1 新年会@バンコク

1月14日(日)に、在タイ同窓生新年会を開催しました。今回はカセサート大学留学中の宇都宮大学国際学部3年生 大川さん、砂川さんに参加頂き、同窓生と在校生との交流の場ともなりました。参加者のうち、3名はカセサート大学留学経験者=大畑さん(96年留学)、原さん(99年)、大宮さん(08年)=ともあり、それぞれの時代の留學生生活の様子を語り合いながら、世代間の相違や変化などを知ることができました。また一方で、タイで生活する中で生まれる、葛藤や疑問、働き方や職場でのタイ人とのコミュニケーションでの一苦労など、お互いの実体験を通して多く意見交換することができました。生活環境は違えど、同じタイで暮らす者同士、話は尽きず、終始楽しいひと時となりました。



左から、砂川さん(留)、大川さん(留)、原さん、橋本さん(工)、大宮さん、大畑さん
※(留)=留學生、(工)=工学部出身

2 スジダ先生ご退官 感謝の会開催@バンコク



後列左から)大川さん(留)、砂川さん(留)、ワンチャイ教授の娘さん、玉城さん(留)
田邊さん、原さん、本間さん、大宮さん、大畑さん
前列左から)池内さん(農)、ワンチャイ教授、スジダ先生、後藤名誉教授、ワンチャイ教授奥様

2017年度をもって宇都宮大学をご退官されたスジダ先生の来タイにともない、3月4日(日)、バンコクにて感謝の会を開催いたしました。会には在タイ同窓生、後藤名誉教授、カセサート大学留学中の在校生、カセサート大学ワンチャイ教授(元宇都宮大学タイ人留學生/93-97年)ご家族の他、ラオス在住の田邊さんもはるばるラオスから駆けつけてくれました。

スジダ先生によるタイ語講座は、国際学部一期生が入学する前年の94年よりスタートしました。それから24年間、先生はタイ語教授はもとより、学祭や国内外のボランティア活動など様々な活動を通して私たちの大学生活に活力を与え続けてこられました。

先生の熱意や行動力、そして教え子を思いやる優しさ、そんな先生から頂いた多くのものを、これから少しでも自分の人生に活かしていけるよう、私たちも気持ち新たに頑張りたいと思います。大学で先生の姿が見られないことはとても寂しいですが、大学からは離れても、スジダ先生は私たちの永遠の恩師。今後ともご指導の程、宜しくお願いいたします。

Profile

諸頭 (岩山) 晴奈さん
Haruna Moroto

- 岩手県出身
- インドネシア在住1年目
- 国際社会学科卒
- 10期生 (阪本研究室)



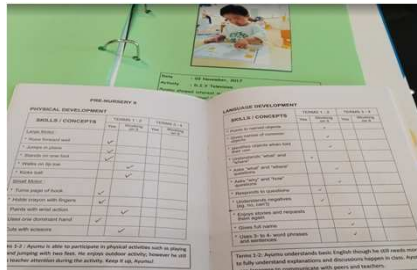
大学卒業から現在までの道のりは？

日系製造メーカーに就職しました。5年程働いた頃、もっと勉強したいという想いに駆られ、2014年に東京大学の修士課程に入学。会社は辞めるつもりで受験したもの、上司の計らいもあり、週4日会社に、週1日大学院に通う生活を始めました。私が働いていた部署は激務で、国内外の出張はもちろん、残業がない日はない…大学院は理系に入った為、高校数学から公式だらけの統計に食らいつく…仕事でジャカルタ出張し、帰国した同日に京都大で研究の打ち合わせをした事もありました。そんな生活を半年程続けた頃、妊娠が発覚。産休まで会社に勤め、大学は出産7日前まで通い、2015年に男児を出産。東大では、育児や仕事をしている生徒は、学費は通常と同じで4年間通う制度があります。私はその制度を使い3年で卒業し、2017年に復職！の予定が、復職2か月前に夫がジャカルタ転勤になった為、そのまま退職して今に至ります。

インドネシアでの子育てはいかがですか？

ジャカルタでは、所謂富裕層家庭の子どもは大体2才頃から幼稚園に通い始めます。息子はジャカルタ入り

した年に2才になったので、インターに通わせることにしました。ただ、日本の幼稚園とは違い、朝8時半に預けても帰ってくるのは11時。預けたと思ってもすぐに帰ってきます。ジャカルタは世界最悪の渋滞都市と言われ、住民の朝も早い。その為、小学校に通っている子ども達は朝6時過ぎの通園バスに乗って行きます。となるとお弁当を作るお母さん達の朝はもっと早い。毎日4時起きという人もいるから頭が下がります。インドネシアは子どもに優しく、精神衛生上日本より格段に子育てがしやすい。道を歩いていても、知らない人がさっと息子の頭を撫でたり、ほっぺを触ったり。レストランで食事の際には、店員がこぞって息子を抱っこしたり、しまいには厨房まで連れていきスイカを食べさせていた事も(!)ありました。



息子の通信簿：2才でも事細かに評価される

自分流インドネシアライフの楽しみ方やお薦めは？

ジャカルタは、オーダーメイド天国と言われます。安価で高品質の革製品、洋服からサンダル、メモ帳まで全て自分の名入りでオーダーできます。私はジャカルタ入りして8か月程経ちますが、息子の名入りビーチサンダル、パティックの鯉のぼり、ブランケット、自分用にはスカートオーダー。ジャカルタはサムスンやLGといった韓国メーカーの進出著しく、またK-POPが流行っているようで、韓国人も多いです。する

と韓国系スバが必然的に発達するのでしょうか。1500円程度で80分のエステが受けられたり。また、良さあしですがジャカルタは歩道があまりなく、外を気軽に歩けません。代わりに、ありとあらゆる場所にモールがあり、カフェやスーパー、遊び場も全て一つのモールで賄え、不便なことはほぼありません。

今後の抱負も踏まえ、みなさんへメッセージを！

残念ながら、私は望んでジャカルタに来たわけではありません。むしろ今後自分のキャリアはどうなるのか、インターで育った子どもが日本の学校に適應できるのかなど、心配は山の如くあります。しかし、自分の中の優先順位として家族の時間を取った点は後悔していません。今はぐっと我慢、雌伏の時であると考えています。出産育児+大学院で仕事が出来なかった際も、ジャカルタにいてキャリアを再開できない今も、今後の飛躍に必要な体力知識を貯蓄している時期なのだから、焦る必要はないのだと。それは、何も私だけではなく、キャリアを一旦止めている多くのお母さん達にも当てはまるし、介護や予期せぬ出来事で思うように動けない皆さんにも当てはまると思います。今は雌伏の時期、アンテナ高く、機会を待つことも大切です。



我が家からの景色：小道が多く渋滞発生の一因

4 第3回 ◆ タイの昨今 ◆ 連載コラム

初めての日本語能力コンテスト

6歳小1の息子は、日本人である私とは日本語、タイ人夫とはタイ語と、言語を使い分けて生活しています。日本語日常会話には問題のない息子ですが、読み書きはやっとカタカナ学習に入った程度のもの。そんな息子が学校側の推薦を受けて、初めてある日本語能力コンテストに参加してきました。今年で12回目のこのコンテストは基礎教育委員会及び仏教財団主催、日本大使館や高野山大学等協賛の下、入賞者には賞金、大学の部の優勝者にはなんとシリントン女王の名誉あるトロフィーを手にできるのであります。コンテストは、第1次試験(筆記)を通過した上位10名が第2次(作文)で数名に絞られ、最終的に3次試験(スピーチ)で優勝を競い合うもの。今年の参加者数は、小学の部49名、中学の部91名、高校の部969名、



大学の部62名、タイ各地から1,171名もの子供たちが参加しました。参加者の内訳をみると、小学生のほとんどが日タイハーフなのに対し、中学生になるとハーフ比率はぐんと下がり、生粋タイ人学生の割合が増。そして高校の部では、選択科目として日本語を受講するタイ人高校生の参戦によって、ハーフの割合は数%に。当日は次の日が日本語能力検定試験ということもあり大学生の参加者数が大幅減となったようです。高校生はコンテスト重視、大学生は検定重視のようですね。努力賞の賞状より賞金が欲しかった～！と騒いでる息子よ、人生努力なくして報酬なしなのだよ。(大畑)

LET'S JOIN!

東南アジア域内在住者・元留学生・
東南アジアに関心のある同窓生のみならず
共に東南アジアの今を発信していきませんか？

まずは以下のURLかQRコードからご自身の情報をご登録ください！多くの方の参加お待ちしております

<https://creativesurvey.com/ng/reply/5dee973a4d5e822f9910e38cf2e2c7/>